

薬学科(6年制)のカリキュラムツリー

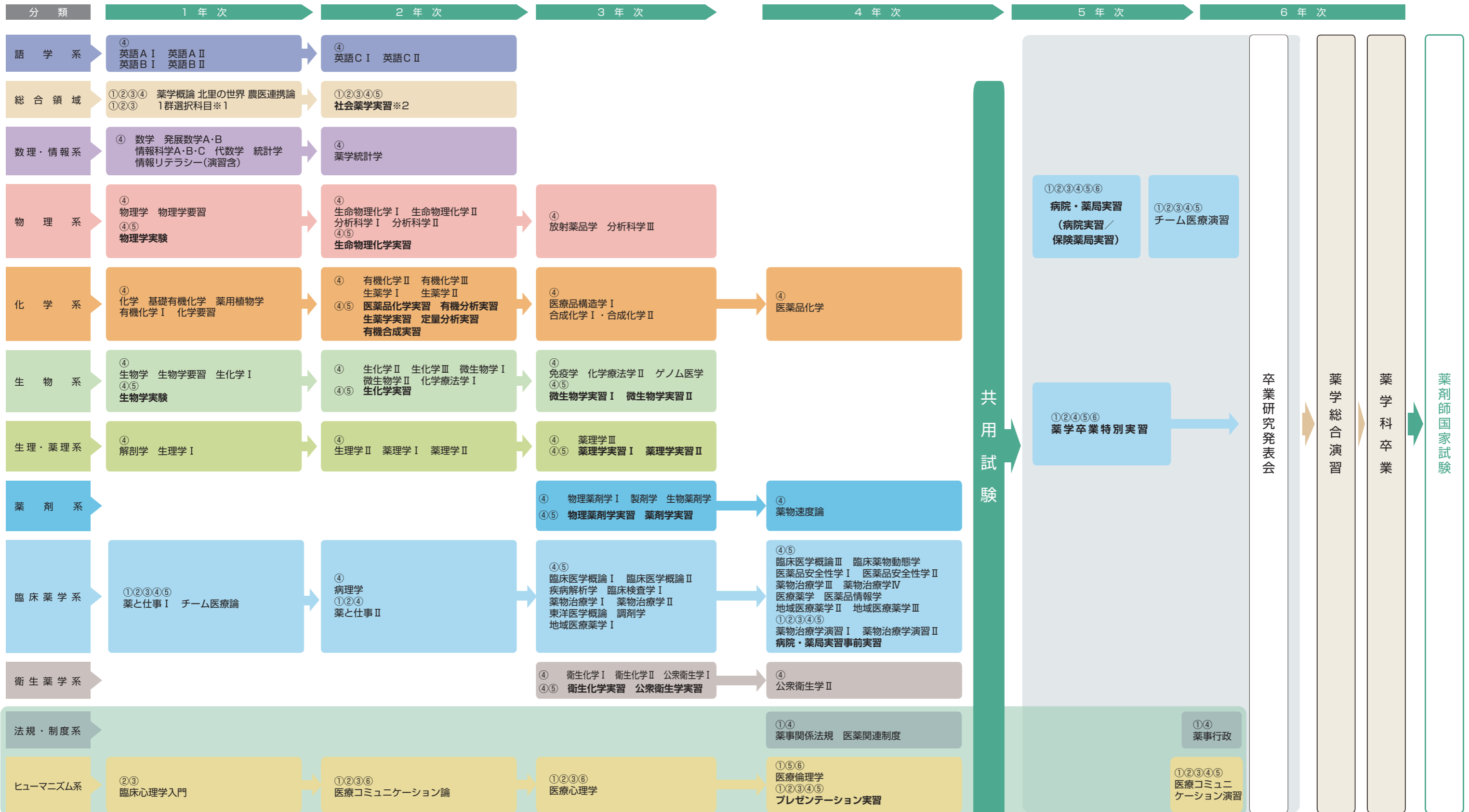
(2024年度以降入学生)

ディプロマ・ポリシー (DP)

人材育成目標(卒業生が身につけるべき資質・能力)
 薬学科では、「薬の専門家」としての専門知識や技能とともに、豊かな人間性や生命の尊厳に関する深い認識を持ち、変化する社会や地域を見据えて、健康増進や医療の質向上に様々な分野で貢献できる人材を育成します。卒業に必要な条件を充足し、下記のプログラムの到達目標に示された資質・能力を身につけたものに対して学位を授与します。

プログラムの到達目標(目標としての学修成果評価)

- ① 医療人としての倫理観
- ② 信頼関係構築のためのコミュニケーション能力
- ③ チーム医療に資する能力
- ④ 医療現場や地域社会で必要とされる専門的な能力
- ⑤ 薬学・医療の進歩と改善に資するための研究遂行意欲と課題発見・問題解決能力
- ⑥ 自律的・協動的な生涯学習の姿勢



薬学科の学びの特徴

1年次 医療人に必要な知識と教養を養う一般教育科目(1群科目)と、薬学の基礎を学ぶ専門科目(2群科目、3群科目)を学ぶ。また、附属病院と連携して開催される、医療現場の早期体験学習やチーム医療に関する講義を学ぶ。
 ※1「1群選択科目」文化の領域」「社会の領域」「教養演習系」に属する科目が該当

2年次 「生命物理化学」「生化学」など薬学の基礎となる科目、「生理学」「臨床薬学系科目」などを学ぶ。また、実習科目を通して、研究に役立つ実験の手法や実験結果の解決法を身に付ける。
 ※2「社会薬学実習」は臨床薬学系、衛生薬学系、法規・制度系及びヒューマンズ系にも関連する。

3年次 各分野でより高度な専門科目が開講され、臨床薬学系科目のウェイトが大きくなる。

4年次 薬学の専門分野に加え、病院・薬局実習(5年次)を前に、臨床系の科目および「病院・薬局実習事前実習」を学ぶ。

5年次 11週(病院)+11週(保険薬局)の「病院・薬局実習」を実施する。また、所属する研究室にて、「薬学卒業特別実習」(卒業研究)を行う。

6年次 「薬学卒業特別実習」を6年前期まで実施し、卒業論文を仕上げ、後期は、これまで学んできた科目をまとめ、総合力、問題解決能力を身につける。また、医療系学部との合同で「チーム医療演習」に参加し、職種間連携を体験する。

薬剤師国家試験